

平成28年度 第1回 認知症対応型通所介護運営推進会議録

日 時	平成28年 6月 9日(木) 14:00～15:00	場 所	岩本町ほほえみプラザ 4階会議室1
議 長	坂本 卓穂 (印)	書 記	野田久美子 (印)
出席者	委 員: ●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏、●●●●氏		
	事務局: 坂本卓穂、五十嵐容子、野田久美子、浅野明日香		
議 題	1. 運営推進会議について		
	2. 事業についての説明・取り組みの発表		
	3. 質疑および評価		
	4. その他		
会 議 内 容	1. 運営推進会議について(管理者坂本より) 自己紹介、認知症対応型通所介護運営推進会議の趣旨について説明を行う。		
	2. 事業についての説明・取り組みの発表(野田・浅野) 一日の定員12名、現在登録者15名、一日平均6～8名の利用あり。少人数の落ち着いた雰囲気の中で、個々の認知症状や個性、趣味に合わせて個別ケアを行っている。 ●●様に奥様に関する事例の報告を頂き、早期発見・早期対応の重要性を確認した。		
	3. 質疑および評価		
	・2025年には団塊の世代が75歳を迎え認知症施策が重要となってくるが、認知症対応型サービスの利用が少ないのが現状。●●様の様な良い例を知ってもらい啓発していくことが大切である(●●委員)。		
	・認知症家族をもつ介護者について、「特養とは違った方法もある」という考えの下、家族自身で認知症介護について勉強することが大切。 少人数だからこそできる認知症ケアの良さ、認知症対応型デイサービスの周知は必要である(●●委員)。		
	・元気な認知症の方は「デイサービスは行きたくない」と言うが、本来なら元気なうちから通ってもらえると良い。その様な観点から認知症カフェは利用しやすく有効だと思う(●●委員)。		
	・区内2ヶ所(一番町と連雀)の認知症カフェは認知症家族間、地域との交流ができるとても良い場であるので拠点を増やした方がよい。介護方法について各家庭を訪問しアドバイスするホームレッスン等、家族も学べる場があるとよい(●●様)。		
	・認知症ケアの充実に向けて、専門性を高めるために認知デイチーム間で月に1回勉強会を開催している。今後も実践に役立つ様取り組んでいきたい(野田)。		
	・自身の家族の介護を通して別居している家族の介護の限界、地域力の大切さを感じた。今後の施策でますます必要となってくる(●●委員)。		
	・区内高齢世帯の増加に伴い地域密着型サービスが必要となっている。家族の協力・支援を得ながら今後も周知・広報していきたい(●●委員)。		
	・本日第1回目の会議にて頂いたご意見を踏まえて今後も運営に役立ててまいります(坂本)。		
	4. その他 特になし。 次回開催は、平成28年11月～12月頃の予定。		

以上